

研究上の発想を柔軟にし、新たな研究アイデアを生み出すには、アカデミア、産業界、外国人、日本人、性別や年代、そして文系や理系などの研究分野の違いを越えて交流することが効果的と考えられる。URAがそのような機会を設定する。

本事業のポイント

新たな着想を得る・ネットワークを構築するなど、研究の可能性をふくらませる段階から、実際の共同研究プロジェクト立上げ段階まで、多様な方策によりURAが幅広く支援

取り組み実績と得られた成果

- ・「分野/立場/組織/セクターを超えて交流したい」「新たな取組に挑戦したい」というニーズに応えるための多様な機会を整備
- ・URAによる研究者マッチングにより国際共同研究の資金獲得等に成功

① 分野/立場/組織/セクターを超えた交流・議論の場の創出

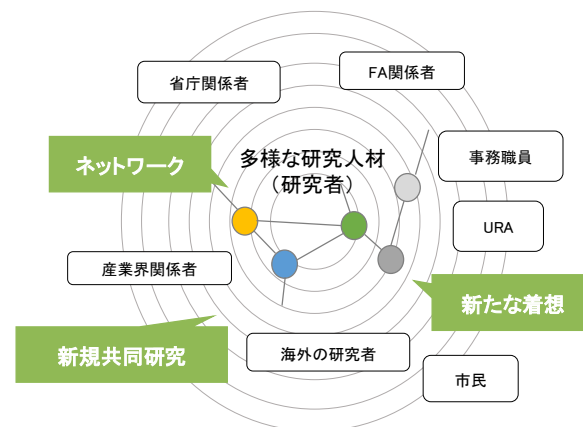
学内外の教職員等が共に学ぶ「学術政策セミナー」、分野/立場/組織を超えて議論する「人文・社会科学系研究推進フォーラム」などの37回の開催で、これまでに延べ1,000人を超える参加者

② 特定のテーマによる研究会・勉強会の開催

学内教員・URAなどが学び合う「トップダウン型外部資金勉強会」、「経営者と人社系研究者の対話サロン」を各1回開催

③ 新たな研究プロジェクト立上げ支援

URAによる研究者マッチング等、海外の大学のURA等と本学のURAが両大学の研究者のマッチングを行い、国際共同研究プロジェクトの立上げを支援 等



今後の課題

- ・さらに多様な立場・セクター等からの参加を促すため、場の企画および主催体制も多様化
- ・共同プロジェクト立上げのための企画・マッチング機能の強化
- ・研究力強化を支える人材の多様化にも貢献
- ・取組意図の明確化および検証・改善の実効化

人材の多様性を活かした更なる研究力強化